

図書館ボランティアグループ間の連携

～オリジナル紙芝居の作成とその実践～



秋田市立中央図書館明德館（秋田県秋田市） <http://www.lib.city.akita.akita.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	秋田市千秋明徳町4-4
電話番号	018-832-9220
人口（図書館が所在する市町村）	320,154人
職員数（うち有資格者数）	40人（19人）
蔵書数	373,784冊
登録者数	23,600人
年間貸出冊数（H24）	475,633冊

目的・趣旨

生涯学習の場として、図書館と市民とのよきパートナー・架け橋を目指し、それぞれのボランティア活動を行う。全体の運営・連絡調整のため、各グループから選出された代表者が事務局を構成、連携を図る。

取組概要

秋田市立中央図書館明德館開館の1983年10月より16名が活動を開始した。1987年に「明德館ボランティアの会」が発足し、現在は5つのグループ約120名が活動中。各グループは中央図書館明德館を拠点とし、館外からの要請にも応じている。

会員の自由な活動を支え連携を図るため、各グループから選出された代表者が事務局を組織し、年に1回の総会と必要に応じて行われる代表者会議によって、グループ間の合同研修やイベントの連絡調整、広報活動を行う。

連携の例として、合同の活動公開・資料展示や大型紙芝居の制作がある。紙芝居は郷土の歴史や公募した童話を作品化し、おはなしの会や図書館によって活用されている。

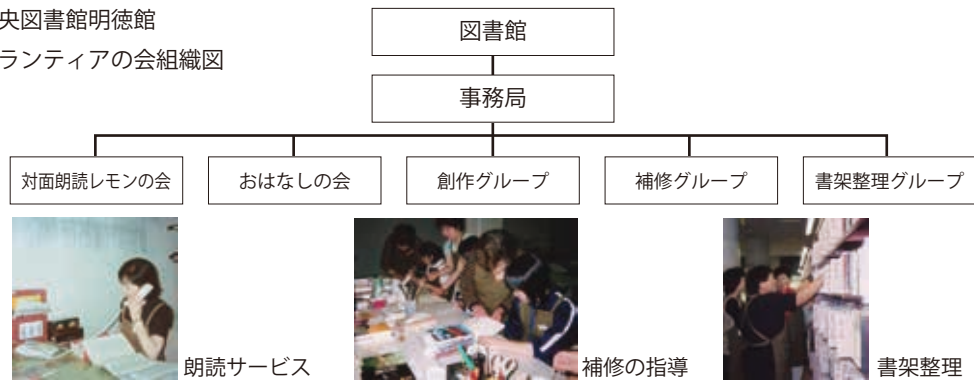


秋田市立中央図書館
明德館ボランティアの会

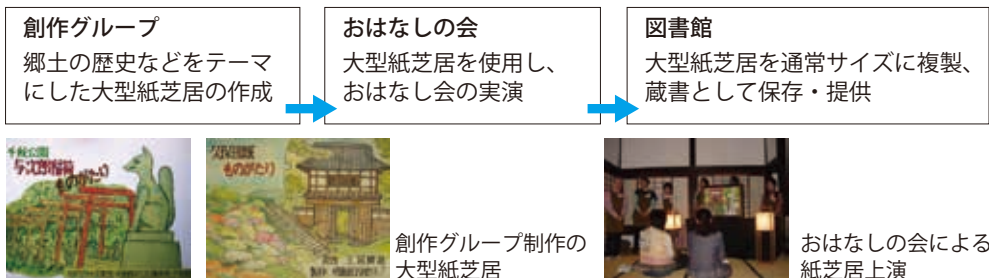
特徴

●中央図書館明德館

ボランティアの会組織図



●大型紙芝居の制作の流れ



取組の成果と今後について

30年の間にボランティア一人一人がより自主性を持った社会参加を目指し、連携によって会員の相互理解が深まり、活動は館内にとどまらず地域へ、あるいは他団体との連携へと広がりを見せている。

今後は、新たなボランティア活動の可能性を模索し、さまざまな市民参加の場を広げることが必要。